

川内川 かんきょう 子ども環境ネットワーク



2010

第8回

全体発表会



平成22年11月27日(土)
さつま町鶴田中央公民館

■川内川子ども環境ネットワーク『環境教室』『防災教室』について



『環境教室』の目的

今、環境問題をテーマにした活動がさかんに行われています。また、そのような活動を始めようと考えている方々も大勢いらっしゃると思います。川内川につながっている身近な川で、水の中の生き物調査やゴミ調査をすることにより、「川内川を日本一の清流にすること」を目的としています。水の中の生きものは、水のきれいさの程度により棲む生きものの種類が異なるため生きものを指標（水の汚れをはかるものさし）として、水のきれいさを調べることができます。子ども達はもちろんですが、大人の方々の参加もOKです！ 平成15年度から活動実施中です。

『防災教室』の目的

近年、ゲリラ豪雨が頻発する中で、少しでも水害への関心を持ってもらい、理解を深めてもらうために「水害に関する知識を深めてもらい、緊急時の避難に対する心がけをもってもらうこと」を目的としています。子ども達はもちろんですが、大人の方々の参加もOKです！ 平成22年度から活動スタートしています。

■川内川子ども環境ネットワークの流れ

【環境教室】

1. 活動単位・内容の決定

- 活動単位・・学校全体/学年/クラス/グループなど
- 活動場所・・身近な川
- 活動内容・・水の中の生き物調査やゴミ調査。さらに別の調査を追加してもOK
- 活動計画・・一年間の活動計画をまとめる

2. 「川内川子ども環境ネットワーク」へ登録

登録方法

【登録申し込み書】

申し込み書（エクセル）をダウンロード

申し込み書（PDF）をダウンロード

【FAXによる登録】

- FAX 番号：0996-25-0862

登録申し込み書を川内川河川事務所
調査課 調査係に送付してください。

【メールによる登録】

- メールアドレス：sendai@qsr.mlit.go.jp

登録申し込み書をメールに添付して送付
してください。

3. 活動・調査

川で調査をおこない、結果を元にして
みんなで話し合い、活動の結果をまとめる。

4. 報告

【発表会での報告】

「川内川子ども環境ネットワーク」全体発表会での報告。

【その他】

壁新聞、川内川河川事務所の広報誌「せせらぎ」、
「川内川子ども環境ネットワーク」ホームページ、
チラシなど。

5. 継続

調査した場所や時期を同じにして、継続していく

【防災教室】



1. 活動単位・内容の決定

- 活動単位・・学校全体/学年/クラス/グループなど
- 活動場所・・身近な川
- 活動内容・・水害に関する知識の習得。
川の危険箇所の把握。
- 活動計画・・一年間の活動計画をまとめる

2. 「川内川子ども環境ネットワーク」へ登録

登録方法

【応募用紙】

応募用紙（PPT）をダウンロード

応募用紙（PDF）をダウンロード

【FAXによる登録】

- FAX 番号：0996-25-0862

応募用紙を川内川河川事務所 調査課
水防企画係に送付してください。

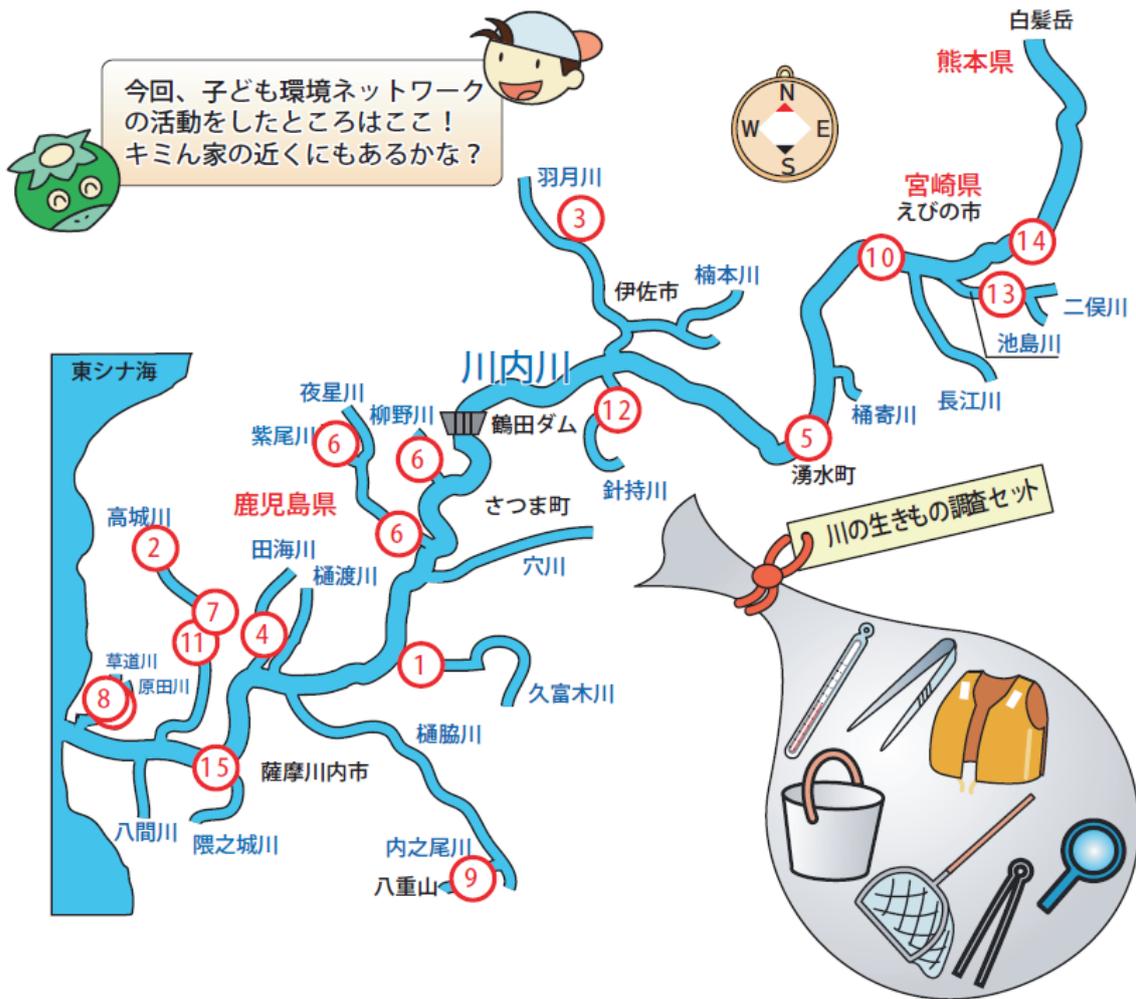
【メールによる登録】

- メールアドレス：sendai@qsr.mlit.go.jp

応募用紙をメールに添付して送付して
ください。



4. 報告



■調査してくれた学校や団体

- ① さつま町立 山崎小学校
- ② 高城川ネイチャークラブ
- ③ ちびっこ水と森の探検隊
- ④ 薩摩川内市立 育英小学校
- ⑤ 湧水町立 栗野小学校
- ⑥ べんきょうしつモンシェリハウス
- ⑦ 川内川をつくり見守る会
- ⑧ 水引キッズ応援隊
- ⑨ 内之尾リバーズスクール
- ⑩ ハッピーサマースクール
- ⑪ 高城川ネイチャークラブ・高来地区子ども会
- ⑫ 伊佐市立 曾木小学校
- ⑬ えびの市立 上江小学校
- ⑭ えびの市立 飯野小学校
- ⑮ 薩摩川内市立 川内小学校

■発表会のプログラム

1. 主催者挨拶 川内川河川事務所 所長 是沢 毅
2. 開催地挨拶 さつま町 町長 日高 政勝
3. 発表会コーディネーター紹介 蒔元 由香



4. 発表会

- 「防災教室」の紹介 川内川河川事務所調査課 長野 紋子
「せんだい宇宙館」の紹介 薩摩川内市せんだい宇宙館 安藤 和真

★発表してくれた団体★

- ①さつま町立山崎小学校
- ②伊佐市立曾木小学校
- ③高城川ネイチャークラブ
- ④べんきょうしつモンシェリハウス
- ⑤鹿児島建設専門学校
- ⑥高城川ネイチャークラブ



～世界子ども水フォーラム・フォローアップ in 北海道に参加して～

★活動事例紹介★

べんきょうしつモンシェリハウス 森脇 里美さんによる事例発表
～川内川子ども環境ネットワークを通しての子供たちの成長～

5. 講評 鹿児島純心女子大学 国際人間学部
こども学科准教授 小島摩文

主催：国土交通省九州地方整備局川内川河川事務所
共催：NPO法人川内川生きものクラブ 川内川アクアフロント推進協議会
南九州コカ・コーラボトリング株式会社
後援：鹿児島県 宮崎県 さつま町 鹿児島県教育委員会 宮崎県教育委員会
さつま町教育委員会 南日本新聞社 宮崎日日新聞社
NHK鹿児島放送局 NHK宮崎放送局 MBC南日本放送
KTS鹿児島テレビ KYT鹿児島読売テレビ KKB鹿児島放送
MRT宮崎放送 UMKテレビ宮崎

川内川流域連携ネットワーク：

KENTS倶楽部 えびの市商工会青年部 NPOえびの
ひしかりガラッパ王国 ジョイントリバー交流会 龍舟祭実行委員会
NPO法人ひっ翔べ！奥さつま探検隊 湯田がらっぱ会
べんきょうしつモンシェリハウス 薩摩川内河童共和国 オアシスクラブ
川内川をつくり見守る会 NPO九州エコ・グリーンヘルパー
マッシュプロジェクト NPO法人きらり 鹿児島純心女子大学
NPO法人川内川生きものクラブ

《発表会コーディネーター》

所属団体	鹿児島県カヌー協会	氏名	蒔元 由香さん
<p>蒔元さんは、カヌー競技の元国体鹿児島代表選手（ワイルドウォーター・カヤック）です。現在は、鹿児島県カヌー協会のスラローム・ワイルドウォーターカヤック競技部の副部長で、県内各地で開催される講習会や川内川では、RAC 地域子ども教室のカヌー教室、薩摩川内市のガラッパカヌー競技大会などで子どもたちの指導をされています。</p> <p>【さつま町在住】</p>			

《コメンテーター》

所属団体	NPO法人ひっ翔べ！奥さつま探検隊	氏名	小林 清文さん
<p>ひっ翔べ！奥さつま探検隊は、鶴田ダムの大鶴湖でブラックバス釣り大会や湖面から産業遺産である曾木発電所遺構を見学する秋の大鶴湖船上体験、川原町公民会さかなのつかみどり大会で川遊びなどの活動を行い、さつま町での川を活用した活動の普及や川づくりの提言などを行っています。</p> <p>【さつま町在住】</p>			

所属団体	せんだい宇宙館	氏名	安藤 和真さん
<p>せんだい宇宙館は、薩摩川内市寺山公園にある宇宙を体験できる施設です。テーマは「聞く」「見る」「触れる」「考える」「動かす」。宇宙を楽しく学ぶことができます。「晴れていれば毎日が観望会」というのも全国的に珍しい施設です。一年を通して、季節の星座や惑星などの案内、流星群や日食、月食などの天文現象の観望会を実施しています。安藤さんは、せんだい宇宙館で天文の解説をしています。また、地域の子ども会リーダーの育成を行っています。</p> <p>【薩摩川内市勤務】</p>			

所属団体	南九州コカ・コーラボトリング(株)	氏名	竹田 俊哉さん
<p>川内川上流(じょうりゅう)のえびのインターそばにある「グリーンパークえびの」は、工場やお花畑、芝生広場やゲストハウス「コーク館」など、皆さんに楽しんでいただける施設です。</p> <p>この施設では年間を通じて、市民団体や行政、そして南九州コカ・コーラのみなさんが協働で様々なイベントを実施し、地域に根付いた公園工場となっています。竹田さんは、「グリーンパークえびの」のセンター長として、えびの市の活性化に尽力されておられます。</p> <p>【えびの市在住】</p>			

《活動事例紹介 ゲストスピーカー》

所属団体	べんきょうしつモンシェリハウス	氏名	森脇 里美さん
<p>森脇さんは、2005 年からモンシェリっ子たちと一緒に、身近な川で水生生物調査や水難事故防止の川の体験活動などを積極的に実施しています。また、2005 年の第3回全体発表会（会場：宮之城文化センター）では、コーディネーターとしても参加して頂き、第5回・第6回九州「川」のワークショップにも参加されています。</p> <p>今年の5月にはこれまでの活動が認められ、（社）日本河川協会より河川功労者として表彰されました。</p> <p>【さつま町在住】</p>			

《講 評》

所属団体	鹿児島純心女子大学 国際人間学部	氏名	小島 摩文先生
<p>こども学科准教授</p> <p>鹿児島純心女子大学は、学生のボランティア参加を推奨しています。8月に薩摩川内市入来町の日本棚田百選 内之尾の棚田で水生生物調査などをおこなう「リバースクール」やえびの市のグリーンパークえびのでおこなわれる「さわやかサマースクール」のリサイクル工作教室などに多数の学生が参加し活動しています。</p> <p>【薩摩川内市在住】</p>			



主催者挨拶 川内川河川事務所長



開催地挨拶 さつま町長



発表会コーディネーターとカップ君



コメンテーターのみなさん

「せんだい宇宙館」の紹介

薩摩川内市せんだい宇宙館 安藤 和真

【発表の概要】

せんだい宇宙館には50cmの望遠鏡があり、昼も夜も天体観測ができます。また、いま宇宙館では、川内川の延長137kmと宇宙の誕生から137億年という「137」に注目し「天の川内川展」をおこなっています。その他にもいろいろな共通点があることもわかりました。みなさまのご来館お待ちしております。



■団体発表

①さつま町立山崎小学校

発表者 4年生 13名

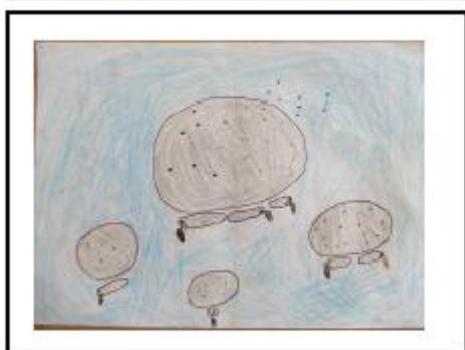
引率 担任 日置 麻衣子

調査河川 久富木川（さつま町）

タイトル 「みんなは川内川博士！」「ホタル」を見に行こう
「ぼくらは川内川博士！」久富木川にすむ生き物

【発表の概要】

総合的な学習の時間で、川内川支流の久富木川にたくさん出る「ホタルの種類や生活」について、そして「久富木川にすむ生き物」について調べました。久富木川にすむ生き物については、河川事務所の方に教えていただき、学校で水質学習会と久富木川で水生生物調査をおこないました。コガタシマトビケラやシロタニガワカゲロウなどが見付き、少しきたない水であることがわかりました。





二渡ホタル舟
～川舟でホタルを観よう～

5月21日
ホタル舟でホタル見学

●活動予定日：5月18日（土）～19日（日）
●会場：夕つな町二渡 二渡ホタル舟の舟着コース
●活動予定時間：第1号 午後1時30分
第2号 午後3時45分
●料 金：大人 1,000円
子供 500円
※お申し込みは要です。

「ぼくらは川内川博士！」

久富木川にすむ生き物

5月12日 水質調査学習会

川内川での発見！！

- 川内川は熊本から流れていて、九州で二番目に長い川です。その長さは、なんと137kmです。
- 川がよごれると、生き物たちがすめなくなります。だから、川にごみを捨ててはいけません。
- 川の中にすむ「び生き物」が川をきれいにしてくれます。

川での注意！！

- 川は、思ったよりも流れが早いので、気を付けましょう。
- ひざより上の深さのところには入らないようにしましょう。

5月27日 水質調査

調査結果

日時 5月27日 午前9時30分～10時30分ごろ
天気 晴れ
水温 17℃
川はば・・・30cm
水のふかさ・・・30cm
川のながれ・・・おそい
川そこの様子・・・石など
にごり・・・おい・・・きれい

5月27日 水質調査

7月13日 うなぎの放流

②伊佐市立曾木小学校

発表者 5年生 7名
引率 担任 国ノ十 奈美
調査河川 針持川（伊佐市）
タイトル 針持川調査

【発表の概要】

私たちは、毎年針持川の水生物調査や川の状態の調査をおこなっています。ゴミはペットボトル1本、川底のぬめりもなく、思った以上にきれいでした。水生物調査では、きれいな川に棲む生き物のカワゲラも見つかりましたが、シロタニガワカゲロウやキロカワカゲロウなどがたくさん見つかり、判定結果は今年も少しきたない水でした。少しでもきれいな川になるよう守っていきたいと思いました。



針持川調査

●わたしたちは9月に針持川を調査しました。



曾木小紹介

曾木小は、全校で64人います。その内8人が、わたしたち5年生です。曾木小は自然にあふれた学校です。あいさつが、しっかりできて花が豊かな学校です。

メンバー紹介

稲森 聖羅	大久保 純
今村 亮太	折口 美沙紀
原田 啓史	野添 空
宮下 賢	宮下 静香

針持川調査をしようとしたわけ

わたしたち、5年生は毎年総合的な学習で針持川の調査をしてきました。毎年先輩たちの調べた結果をみていて、針持川は、少し汚い水だということがわかっていました。自分たちが調べて、針持川がどんな川なのかを知りたいとおもっていました。

調べた内容

- ①透視度計を使っての水質調査。
- ②川の中に入って生き物を、つかまえる。
- ③薬品を使った水質調査。（アンモニア態窒素）（PH）（COD）

現地調査結果

簡易水質試験

- 透視度・・・100cm
- 水温・・・26.5℃
- ベーハー・・・7.0
- COD・・・6以上
- アンモニア態窒素・・・2



針持川の様子について

説明	ゴミの量	透視度 (cm)	川底の感触	水の臭い
川の中に入って遊ばず	全く奥に ならない	100以 上	平穏でな い	平穏でな い

針持川の生き物



きれいな水の生き物	
ニンギョウトビケラ	1匹
ウズムシ	1匹
少し汚い水の生き物	
カワナニ	8匹
ツボキシマトビケラ	4匹
ヒラタドコムシ	3匹
ヌマエビの仲間	7匹
シロタニカワカゲロウ	37匹
ハゲロンボ	4匹
キイロカワカゲロウ	3匹
合計	73匹

水質階級判

きれいな水の水質階級 1
カワゲラが 1 匹みつけた。

少し汚い水の水質階級 2
カワナニ・・・3匹 ヒラタ
ヌマエビの仲間・・・5匹 キイロカワカゲロ
ウ・・・3匹
シロタニカワカゲロウ・・・27匹、見つかった。



調べたところ、少し汚い水にいる生き物がたくさん
見つかった。

まとめ

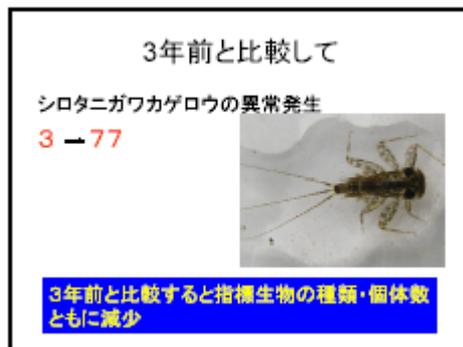
- 思った以上にキレイだった。
- それほど大きな魚は、いなかったけどいろいろな生き物がいた。
- とところどころアルミルしていたけど、そう気になるほどでなかった。
- ゴミはペットボトル一本ぐらいしか見当たらず良かった。
- 針持川にはたくさんの生き物がいました。これから川を大切にきれいに守っていきましょう。

感想

針持川調査をしたら、少し汚い水だった。
きれいな水の生き物も 2 種類ぐらいしか
いなかったの、1 種類でも多く、増や
せるようにわたしたち自身が、川をま
もっていききたいなあ、と思いました。

水質調査 3年前との比較

	3年前	今年
透視度	100cm	100cm
PH(ペーハー)	7.5	7
NH ₄ -N(アンモニア態窒素)	0.2MG/L	0.2MG/L
COD(化学的酸素要求量)	4MG/L	7MG/L



④べんきょうしつモンシェリハウス

発表者 11名

引率 森脇 里美

調査河川 夜星川、紫尾川、柳野川（さつま町）

タイトル ニュース番組「ズバッとモンシェリ」調査結果の報告

【発表の概要】

毎年、モンシェリハウス横を流れる夜星川の水質調査や水生生物調査をおこなってきましたが、今年は夜星川の支流で上流域の紫尾川と、夜星川から5kmほど離れたところにある柳野川の下流も調査しました。毎回夜星川の調査結果は「少しきたない水」でしたが、紫尾川はサワガニやカワゲラなどがたくさんいて、きれいな水でした。夜星川と柳野川は少しきたない水でした。柳野川にはビッグなカワニナがいてびっくりしました。平成18年の豪雨災害前は、夜星川には100個近いカワニナが見つかっていましたが、それ以後は10個以下という結果が続いています。今後も継続して調べてみたいと思います。



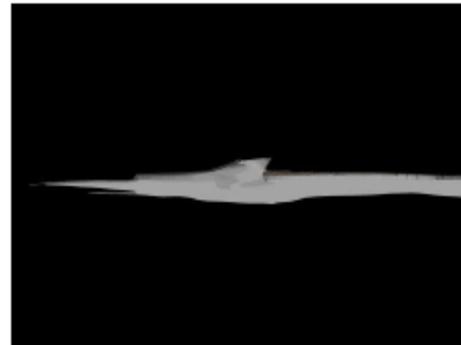
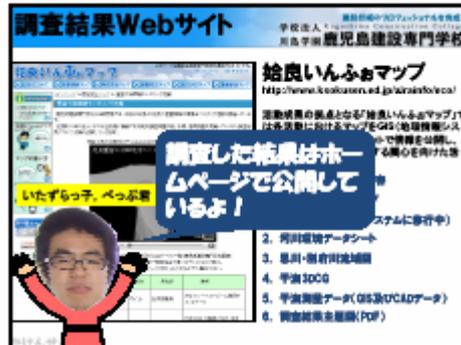
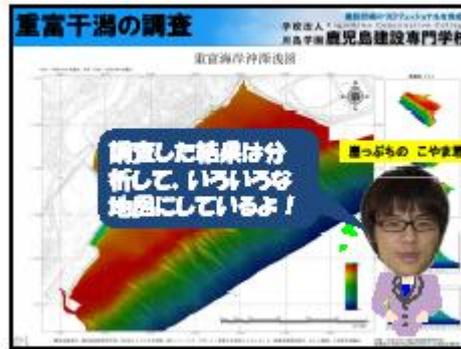
⑤鹿児島建設専門学校

発表者 8名
 引率 担任 鶴成 悦久
 調査河川 思川、別府川（始良市）
 タイトル 建設環境課の取組みについて

【発表概要】

鹿児島建設専門学校建設環境課では、測量の方法や地図作り方や道路、河川などの設計図の作り方、自然を守る方法などを学んでいます。また、これらの学習内容を活かし、授業や授業外で地域の子どもたちと一緒に、地域の河川や干潟の環境調査をおこない、これらのデータをGISという電子地図を使ったコンピュータソフトで調査結果をまとめ、インターネット上でみなさんに見てもらえるようにしています。



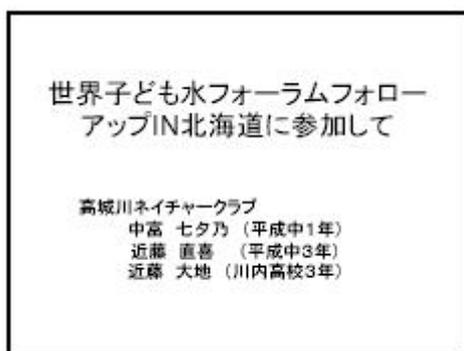


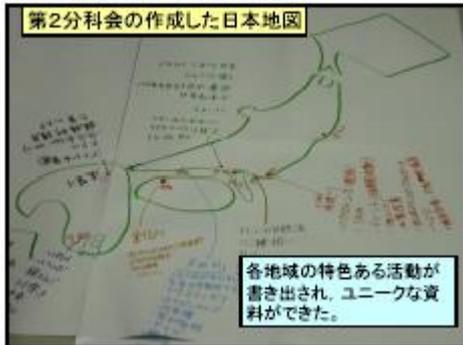
⑥高城川ネイチャークラブ

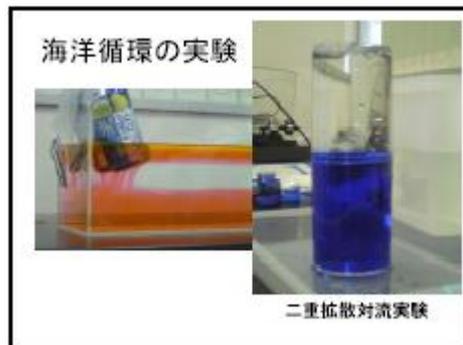
発表者 近藤 大地（高3）、直喜（中3） 中富 七タ乃（中1）
引率 宮園 敏雄、近藤 佳代子
タイトル 世界子ども水フォーラムフォローアップIN 北海道に参加して

【発表の概要】

深刻化する世界の水問題を解決するために、行政・市民・学識者など、世界のさまざまな分野の人たちが集まり、3年に一度『世界水フォーラム』が開催され、その中の主要な分科会のひとつとして『世界子ども水フォーラム』が開かれています。『世界子ども水フォーラム・フォローアップ』は、この経験や成果が継続したものとなることを期待し、さらに子どもたちのネットワークを広めていくことを目的として、次世代を担う中学校・高校の生徒を対象に毎年開催されています。今回の第8回大会では、世界の水に関する諸問題や自分たちが行っている水に関する活動等について、お互いに議論し、考え、発表しました。みなさんも是非参加してみてください。きっと自分の中に何か大切なものを見つけられるはずです。







温室効果ガスを2050年までに
半減するという目標が宣言された
洞爺湖サミット
その北海道で今年水フォーラムが開
催されました。私たち3人は洞爺湖で
の体験活動や全国から集まった仲間
との交流を通して日本が抱える水環
境の問題についてあらためて考える
貴重な機会を得ることができました。

世界水フォーラム・フォローアップ
IN北海道に参加した3人の発表を
終わります。

来年はあなたが水フォーラムに参
加してみませんか。
きっと自分の中に何か大切なもの
を見つけられるはずです。

■活動事例紹介

べんきょうしつモンシェリハウス

発表者 代表 森脇 里美

タイトル ～川内川子ども環境ネットワークを通しての子供たちの成長～

【発表の概要】

モンシェリハウスは、小中学生の自発的な学習意欲の向上を支援していますが、協調性の育成や環境への関心向上等を目的に、課外活動で河川での環境学習などを年4回程度おこなっています。この活動の効果としては、低学年から高学年になるにつれ、下級生の面倒をみるようになるなどリーダーシップをとるようになったり責任感が芽生えるようになったり、また、活動のまとめ学習では、年々捕まえたさかなの絵が詳しくなるなどの表現力や状況などを説明する言語力がついてきており、体験したことを知識に変えたり、それが学習意欲の向上につながったりして、川の学習は子どもたちの成長の一助となっています。

最後に、この子ども環境ネットワークを助け川内川を清流にするために、今日参加しているみなさん、周りの友達に「川内川子ども環境ネットワーク」って知ってる？と聞きましょう！



みんなのけんきょういっしょに
モンシェリハウス

課外・河川活動の目的

- ・協調性の育成
- ・環境への関心
- ・経験が学びである

モンシェリハウス
〒099-2104 七戸町七戸 100-1 番地
教室: 0996-59-8206 森脇 里美

モンシェリハウス 活動年表

河川活動実績	
2005	4月 ごみ拾い 5月 全道一斉水質調査 6月 カヌー体験 10月 五州 川のワークショップ-稚内 12月 子ども環境ネットワークの会之集
2006	5月 第1回バスファッシング大会 7月 川内川調査実習 10月 五州 川のワークショップ-滝川内市 11月 子ども環境ネットワークの会 6月 第2回バスファッシング大会 7月 夜更川調査 8月 カヌー体験 9月 夜更川調査(流連調べ)
2007	11月 水外シザー-旭寿 5月 第3回バスファッシング大会 6月 ダム見学 7月 亀つみ釣り大会 8月 世界子どもフォーラムの集 9月 夜更川調査(石の学習-カイト大授業) 10月 夜更川調査(いきものワズ大会) 11月 子ども環境ネットワーク-滝川内市 6月 第4回バスファッシング大会 9月 夜更川調査(先鋒予知訓練) 7月 夜更川調査 8月 夜更川調査 9月 柳の川調査 11月 子ども環境ネットワーク-鶴田

子供たちの成長 case-1



やすかずくんの場合
★低学年→高学年
★リーダーシップ・責任感
→精神的な成長

子供たちの成長 case-2

あおいさんの場合

・観察記録から見られる変化
→経験を知識に変換

かぜひこくんの場合

・課外活動による発見!!
→個性の発見!!



子供たちのいいところをたくさん発見!!
→学びの場は多種多様であるべき。

子供たちの成長 case-3



課外活動の効果

- ・課外活動を通して、精神的成長を助長。
→リーダーシップや責任感を持って行動。
- ・経験が知識を育てる。
→回数を重ねることに知識を蓄積。
- ・多角的な環境で学ぶこと。
→得た経験・知識が「べんきょう」に繋がる。



ご清聴
ありがとうございました

■講評

鹿児島純心女子大学 国際人間学部 ことば学科准教授 小島摩文

発表を聞かせていただき、みなさんすばらしい発表でびっくりしました。今日は1団体ずつ感想を述べさせていただきますしたいと思います



□さつま町立山崎小学校

劇を交えた発表で元気もあってとてもすばらしいと思います。劇の中ではホタルの幼虫が脱皮する様子がよく表現されたりしていてすばらしい発表だったと思います。また、発表だけでなく、他の団体の発表をよく聞いて、たくさん質問していたのもたいへんよかったのではないかと思います。

□伊佐市立曾木小学校

元気よく発表できていてとてもよかったと思います。ときどきメモをみながら発表していた子どもたちもいましたが、全部暗記しなくてもよいし、ときどきメモを見ながらでもパッと虫の名前をスラスラ言えたことには関心しました。たいへんすばらしいことだと思います。

□高城川ネイチャークラブ

とても永い間頑張ってきた活動の様子がよくわかってとてもいい内容だったと思います。また、世界子ども水フォーラム・フォローアップに参加したことについての発表もありました。発表を聞きながら、高城川にはたいへん永く活動をしている子どもたちがたくさんいるので、これからも是非後輩につなげていって欲しいなと思いますし、みなさん自身にも続けていって欲しいと思いました。そして、近藤大地君からは川の活動を通して自分の進路を考えて来られたとの話を聞いてとてもうれしく思いました。

□べんきょうしつモンシェリハウス

河川功労賞受賞おめでとうございます。こちらの団体も永い間活動をされていますが、いろんな工夫もされてすばらしい発表だったと思います。

□鹿児島建設専門学校

専門的な話もあって、小学生には少し難しい内容だったのではないかと思います。その専門性を活かされた活動ですばらしい発表だったと思います。自然を守ることも技術の中に含まれると言うコメントがありましたが、とても印象に残りました。さまざまな活動を通しこれから社会に出ていかれると思いますが、みなさんには是非環境を守る技術者になっていただきたいなと思います。

最後に、みなさんは生きもの調査をおこない、その結果をまとめ、それを発表しましたが、これは『学問の出発点』です。いろんなことを調べて問題を発見し解決していくこと・・・これは人生で重要なことです。これはいろんな分野にも当てはまるので、これからも頑張ってくださいと思います。

■ 記念写真



さつま町立山崎小学校 4年生



伊佐市立曾木小学校 5年生



高城川ネイチャークラブ



べんきょうしつモンシェリハウス



鹿児島建設専門学校



NPO 法人川内川生きもののクラブ

〒895-0012

鹿児島県薩摩川内市平佐町2416番地

TEL : 0996-25-3155/FAX : 099623-5333